

2023年度

三重大学人文学部 3 年次編入学
学 生 募 集 要 項

<一般を対象とした入試>

<社会人を対象とした特別入試>

<私費外国人留学生を対象とした特別入試>

三 重 大 学

目 次

I. 学科・募集人員	1
II. 出願資格	1
III. 編入学時期及び卒業要件	2
IV. 出願手続	3
V. 選抜方法等	7
VI. 合格者の発表について	8
VII. 入学確約書の提出	8
VIII. 国際交流会館への入居申請について	8
IX. 健康診断書の判定方法について	9
X. 障害のある入学志願者との事前相談について	9
XI. 入学手続き等について	10
XII. 受験時の宿泊について	10
XIII. 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)	11
XIV. 学部・学科の内容	12
XV. 三重大学位置図	14
XVI. 個人情報利用について	15

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等の状況により、出願期間及び試験日を延期する可能性があります。延期の有無につきましては、5月下旬に人文学部ホームページにてお知らせいたしますので、出願前に必ず人文学部ホームページをご確認ください。

I. 学科・募集人員

学 科 名	募集人員	区 分			
		一般を対象とした入試		社会人を対象とした特別入試	私費外国人留学生を対象とした特別入試
		推薦による入試	学力試験による入試		
文化学科	10名	—	5名	5名	若干名
法律経済学科	20名	7名程度	10名程度	3名	若干名

II. 出願資格

区 分	出 願 資 格
推薦による入試	<p>次の各号のいずれかに該当する者で、学業成績が上位に属し、出身学校長等が責任を持って推薦できる者。ただし、他大学に重複して推薦されていない者、合格した場合に入学を確約できる者に限ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 短期大学及び高等専門学校を2023年3月卒業見込みの者 (2) 大学を2023年3月卒業見込みの者 (3) 2023年3月31日までに大学に2年以上の在学となる者で修得(修得見込み)単位数が52単位以上の者
一般を対象とした入試	<p>次の各号のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者 (3) 大学の2年課程を修了した者 (4) 大学に2年以上在学した者及び2023年3月31日までに2年以上の在学となる者で修得(修得見込み)単位数が52単位以上の者 (5) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者 (6) 国立養護教諭養成所又は国立工業教員養成所を卒業した者 (7) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条の規定による者 (8) 学校教育法第132条の規定による専修学校の専門課程を修了した者及び2023年3月修了見込みの者 (9) 学校教育法第58条の2の規定による高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部)の専攻科の課程を修了した者及び2023年3月修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。) (10) 外国において日本の学士の学位と同等の学位を取得した者及び取得見込みの者 (11) 外国において学校教育における14年の課程若しくはこれと同等以上の課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者 (12) 外国の短期大学を卒業した者及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。) <p>[注] 出願資格(8)による場合は、修学上の詳細について事前に問い合わせてください。出願資格(10)～(12)による場合は、出願資格及び手続上の詳細について事前に問い合わせてください。</p>

<p>社会人を 対象とした特別入試</p>	<p>2023年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験が3年以上となる者で、次の各号のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者 (3) 大学の2年課程を修了した者 (4) 大学に2年以上在学した者及び2023年3月31日までに2年以上の在学となる者で修得(修得見込み)単位数が52単位以上の者 (5) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者 (6) 国立養護教諭養成所及び国立工業教員養成所を卒業した者 (7) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条の規定による者 (8) 学校教育法第132条の規定による専修学校の専門課程を修了した者及び2023年3月修了見込みの者 (9) 学校教育法第58条の2の規定による高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部)の専攻科の課程を修了した者及び2023年3月修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。) (10) 外国において日本の学士の学位と同等の学位を取得した者及び取得見込みの者 (11) 外国において学校教育における14年の課程若しくはこれと同等以上の課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者 (12) 外国の短期大学を卒業した者及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。) <p>[注]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人の経験には「主婦[主夫]業」も含まれます。 ・ 出願資格(8)による場合は、修学上の詳細について事前に問い合わせてください。 ・ 出願資格(10)～(12)による場合は、出願資格及び手続上の詳細について事前に問い合わせてください。
<p>私費外国人留学生を 対象とした特別入試</p>	<p>日本の国籍を有しない者で、独立行政法人 日本学生支援機構実施の日本留学試験(日本語、総合科目(出題言語:日本語又は英語))を受験(2021年度又は2022年度実施分)し、次の各号のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 外国において日本の学士の学位と同等の学位を取得した者又は取得見込みの者 (2) 外国において学校教育における14年の課程若しくはこれと同等以上の課程を2023年3月31日までに修了した者及び修了見込みの者 (3) 外国人留学生として、日本の大学において2023年3月31日までに2年以上の在学となる者で、修得(修得見込み)単位数が52単位以上の者 (4) 外国人留学生として、日本の大学、短期大学、高等専門学校のいずれかを卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者 (5) 学校教育法第132条の規定による専修学校の専門課程を修了した者及び2023年3月修了見込みの者 (6) 学校教育法第58条の2の規定による高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部)の専攻科の課程を修了した者及び2023年3月修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。) <p>[注]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出願資格(1)、(2)による場合は、出願資格及び手続上の詳細について事前に問い合わせてください。 ・ 出願資格(5)による場合は、修学上の詳細について事前に問い合わせてください。

Ⅲ. 編入学時期及び卒業要件

- (1) 編入学は、2023年4月とし、学年は第3年次とします。
- (2) 本学部で定める所定の単位数を修得した場合は、入学後2か年の在学で卒業可能です。
- (3) 私費外国人留学生を対象とした特別入試により入学した場合でも、入学後の教育は、原則として日本人学生と同様に行います。

IV. 出願手続

(1) 出願方法

出願はWEBによる出願登録及び出願書類の郵送(あるいは持参)により行います。

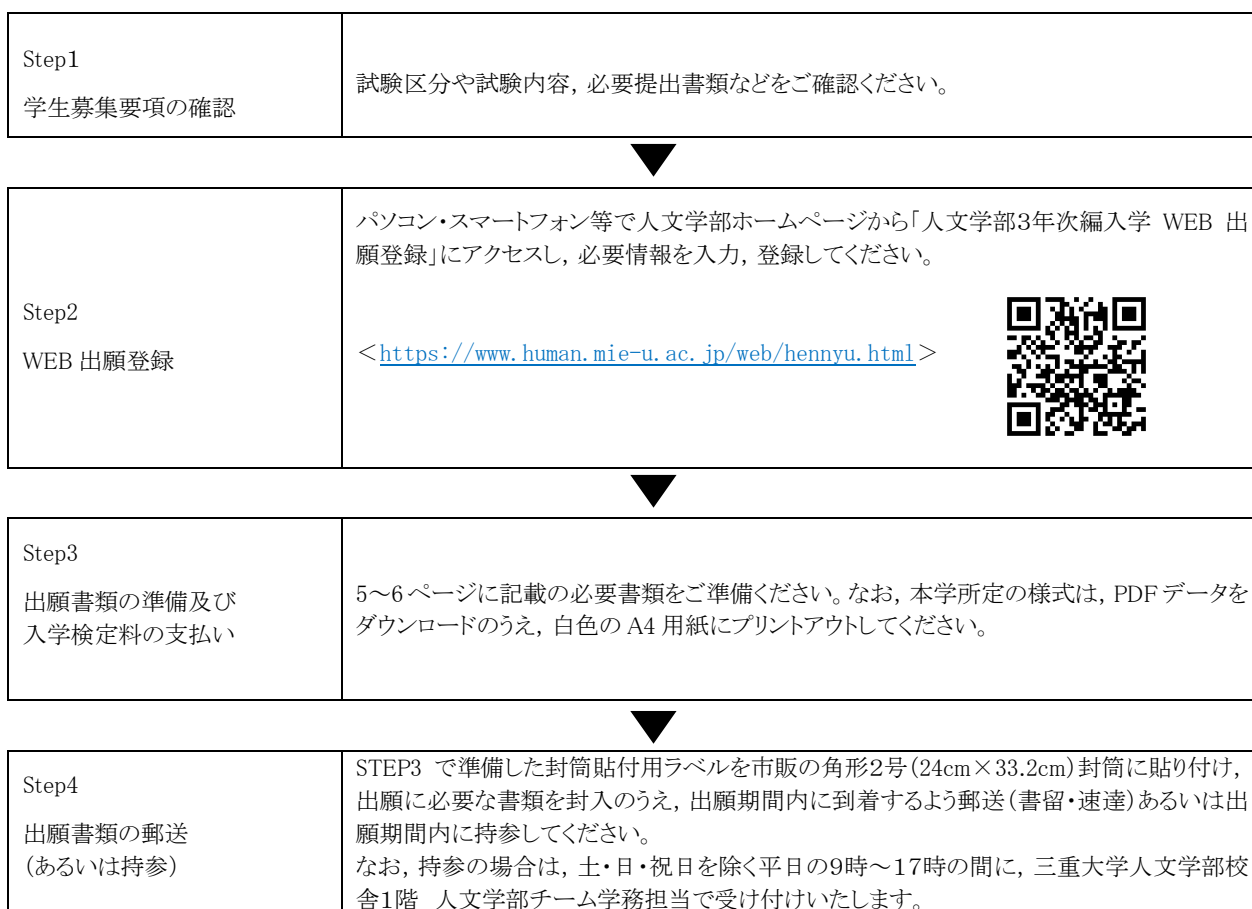
- ① 人文学部ホームページ上のWEB出願登録サイトより、志願者情報等を入力する。
- ② 入学検定料を支払う。
- ③ 志願票、検定料、調査書等の提出が必要な出願書類等を郵送する。

〈注意〉

WEB出願登録は、インターネットでの入力を行っただけでは出願手続完了にはなりません。出願期間内に必要な出願書類等が到着するように、書留速達で郵送する必要があります。

以上を考慮し、余裕を持って手続を行ってください。

出願の流れ



(2) 出願期間等

インターネット入力及び出願期間は以下のとおりとします。

区分		期間	
		WEB 出願登録可能期間	出願期間 (提出が必要な書類等の郵送あるいは持参)
一般を対象とした入試	推薦による入試	2022年5月24日(火) 9:00～ 2022年6月3日(金)17:00	2022年5月31日(火) 9:00～ 2022年6月3日(金)17:00
	学力試験による入試	2022年9月26日(月) 9:00～ 2022年10月6日(木)17:00	2022年10月3日(月) 9:00～ 2022年10月6日(木)17:00
社会人を対象とした特別入試		2022年9月26日(月) 9:00～ 2022年10月6日(木)17:00	2022年10月3日(月) 9:00～ 2022年10月6日(木)17:00
私費外国人留学生を対象とした特別入試		2022年11月24日(木) 9:00～ 2022年12月6日(火)17:00	2022年12月1日(木) 9:00～ 2022年12月6日(火)17:00

注意事項

上記期間中に WEB 出願登録を完了及び必要書類が本学に到着していなければなりません。

出願書類等を郵送する場合は必ず郵便局窓口から書留速達で郵送してください。書留速達以外で郵送した場合、事故があっても本学ではその責任を負いません。なお、海外から発送する場合は、EMS(国際スピード郵便)や DHL(国際宅配便)等を利用し、出願期間に間に合うよう、余裕を持って発送してください。

(3) 出願のために準備するもの

パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は学校・図書館・知人等のパソコン等から出願してください。
印刷環境	郵送が必要な書類を A4 用紙で印刷します。自宅にプリンタがない場合は学校・図書館・知人・コンビニエンスストア等のプリンタから印刷してください。
メールの設定	出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン設定を行っている場合はメールが届かないことがあります。@ocans.jp を受信可能なドメインとして設定してください。
提出が必要な出願書類等	5～6 ページ参照の上、提出期限内に間に合うようあらかじめご用意ください。
封筒	必要書類等郵送のために市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)及び受験票返送時に利用する長形3号(12cm×23.5cm)をご用意ください。

(4) 入学検定料の返還について

入学検定料を払い込んだ後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還できません。

- A) 入学検定料を払い込んだが三重大学に出願しなかった又は出願書類が受理されなかった場合
- B) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

<返還請求の方法>

三重大学ホームページ入試情報(<https://www.mie-u.ac.jp/exam/folder/index.html>)に掲載されています「入学検定料の返還について」にしたがって、返還手続きを速やかに行ってください。返還には、入学検定料納入時に金融機関から受領した「払込金受取書」が必要になりますので、大切に保管してください。

(5) 提出が必要な出願書類等

書 類 等	一般		社会人	私費留学生	摘 要
	推薦	学力			
① 封筒貼付用ラベル	○	○	○	○	本学所定の様式(PDF)をダウンロードし、白色の A4 用紙に印刷のうえ、必要事項を記入してください。このラベルを、市販の角形2号(24cm×33.2cm)封筒に貼り付け、出願に必要な書類を封入のうえ、出願期間内に郵送、あるいは持参してください。
② 志 願 票	○	○	○	○	本学所定の様式(PDF)をダウンロードし、白色の A4 用紙に印刷のうえ、必要事項を記入してください。 3 ページ「出願の流れ」STEP2 完了時に届いたメール最下部に記載の「申込者 ID」を所定欄に記入してください。
③ 推 薦 書	○				本学部所定の用紙に最終出身(在学)学校長等が記入し、厳封したもの。
④ 志 願 理 由 書	○	○	○	○	本学所定の様式(PDF)をダウンロードし、白色の A4 用紙に印刷のうえ、必要事項を記入してください。字数や文字の大きさに制限はありませんが、枠内に収まるように記入してください。
⑤ 受 験 写 真 票	○	○	○	○	本学所定の様式(PDF)をダウンロードし、白色の A4 用紙に印刷のうえ、必要事項を記入してください。なお、受験写真票の所定の位置に顔写真を貼り付ける必要があります。顔写真は縦 4cm×横 3cm で無帽・単色背景・本人とはっきりわかるものをご用意ください。
⑥ 出 願 資 格 を 証 明 す る 書 類	○	○	○	○	卒業証明書又は卒業見込み証明書等、出身大学長等が作成したものを提出してください。なお、日本語以外で作成されたものについては必ず日本語訳を添付してください。 出願資格「大学に2年以上在学した者及び当該年度3月までに2年以上の在学となる者で修得(見込み)単位数が52単位以上の者」に該当する者は、本学所定の在学期間証明書(PDF)を最終出身(在学)学校長等が記入し、厳封したものを提出してください。 ※卒業証明書は卒業証書と書式が異なります。出身大学の事情で、卒業証明書の提出が難しい場合は、事前に問い合わせること。
⑦ 成 績 証 明 書	○	○	○	○	出身大学長等が作成したものを提出してください。なお、日本語以外で作成されたものについては必ず日本語訳を添付してください。

⑧	入学検定料 振込証明書	○	○	○	○	<p>本学所定の振込用紙(PDF)をダウンロードし、白色の A4 用紙に印刷、記入のうえ、最寄りの金融機関(銀行・信用金庫・農協など)の窓口に入学金検定料(30,000 円)を添えて提出してください。(ATM は使用しないでください。)</p> <p>振込の後に、「振込証明書」(入学検定料納付票貼付用)を受け取り、金融機関の受取印が押されていることを確認し、その後、志願票の所定欄にのりで貼り付けてください。なお、「受取書」は志願者本人の領収書となりますので、大切に保管してください。(ゆうちょ銀行での取り扱いはできませんので、注意してください。)</p>
⑨	健康診断書	○	○	○	○	<p>出願期間中に外国に居住している者(日本国籍を有する者を含む)で、受験するために新たに渡日する者は、本学所定の健康診断書(PDF)を提出してください。健康診断書は、出願期間の初日の時点から起算して6ヶ月以内に海外の医療機関において公式に作成されたものとします。</p>
⑩	日本留学試験 受験票のコピー				○	<p>学生募集要項に記載の出願資格に該当する日本留学試験の受験票のコピーを提出してください。</p>
⑪	パスポートのコピー				○	<p>顔写真が掲載されているページをコピーしてください。</p>
⑫	在留カード (両面)のコピー				○	<p>出願時に日本国内に在留している場合は、在留カードのコピーを提出してください。短期滞在で入国している者は、パスポートの上陸許可証シールのページをコピーしてください。</p>

出願資格「学校教育法第 132 条の規定による専修学校の専門課程を修了した者及び修了見込みの者」に該当する者は、上記の他、下記の⑬に示す書類を添付してください。

⑬					○	○	○	<p>文部科学大臣の定める基準(修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が 1700 時間以上)を満たす専修学校の専門課程を修了したこと又は修了見込みであることを校長名で証明する証明書。</p>
---	--	--	--	--	---	---	---	--

出願資格「学校教育法第 58 条の2の規定による高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部)の専攻科の課程を修了した者及び修了見込みの者(学校教育法第 90 条第1項に規定する者に限る。)」に該当する者は、上記の他、下記の⑭に示す書類を添付してください。

⑭					○	○	○	<p>文部科学大臣の定める基準を満たす高等学校の専攻科の課程を修了したこと又は修了見込みであることを校長名で証明する証明書。</p>
---	--	--	--	--	---	---	---	--

〈注意事項〉

- ① 提出すべき書類のうち、外国の学校又は機関が作成する書類(日本語以外による記載の場合)については、日本語訳を添付してください。
- ② 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後も入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願書類に記入もれ等不備がある場合には、受理できませんので、注意してください。
- ④ いったん受理した書類は、いかなる理由があっても返還できません。
- ⑤ 入学検定料を払い込んだ後、出願書類を提出しなかった場合、出願書類が受理されなかった場合及び入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還できません。
- ⑥ 三重大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人三重大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

【参考】安全保障輸出管理(三重大学)

<https://www.crc.mie-u.ac.jp/rm/export/>

Security Export Control Handbook(経済産業省)

https://www.meti.go.jp/policy/anpo/seminer/shiryo/handbook_e.pdf

(6)出願先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

三重大学人文学部チーム学務担当 電話(059)231-9197(直通)

なお、持参の場合は、土・日・祝日を除く平日の9時～17時の間に、三重大学人文学部校舎1階人文学部チーム学務担当で受け付けます。

(7) 受験票の交付

受験票は試験期日1週間前から3日前の間に、WEB出願登録時に登録されたメールアドレスに、メールでお送りします。試験当日までに、志願者自身で白色のA4用紙に印刷のうえ、必要事項を記入し、試験当日まで大切に保管してください。なお、試験期日の2日前になっても受験票に関するメールが届かない場合には、下記まで連絡してください。

三重大学人文学部チーム学務担当 電話(059)231-9197(直通)

V. 選抜方法等

区分		選抜期日	時間	教科等	
一般【推薦】		2022年6月15日(水)	10:00～	面接	
一般【学力】 及び 社会人	文化学科	2022年11月12日(土)	10:00～11:30	小論文	
			13:00～14:30	外国語(※1)	
			15:00～	面接	
			2022年11月13日(日)(※2)	10:00～	面接
	法律経済学科	2022年11月12日(土)	10:00～11:30	論述試験	
			15:00～	面接	
2022年11月13日(日)(※2)			10:00～	面接	
私費外国人留学生		2023年1月18日(水)	10:00～11:30	小論文	
			13:00～	面接	
				2023年1月19日(木)(※2)	10:00～

※1 外国語については、英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうちから1科目選択

※2 2日目に予定されている面接は、志願者が多数の場合に実施することとし、実施の有無については、受験票とともにお送りする受験案内に記載します。

VI. 合格者の発表について

合格者の受験番号を本学ウェブサイト「入試情報」に合格発表から1週間掲載します。なお、電話での合否の問い合わせには応じられません。

区 分	発 表 日
一般【推薦】	2022年7月15日(金) 午前10時頃
一般【学力】及び社会人	2022年12月16日(金) 午前10時頃
私費外国人留学生	2023年2月13日(月) 午前10時頃

VII. 入学確約書の提出

入学試験の合格通知を受けた者は、入学確約書を次表の期日までに提出してください。

区 分	期 日	提 出 先
一般【推薦】	2022年8月1日(月)	〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 三重大学人文学部チーム学務担当
一般【学力】及び社会人	2023年1月4日(水)	
私費外国人留学生	2023年2月28日(火)	

VIII. 国際交流会館への入居申請について

入学試験の合格通知を受けた者は、留学生のための寮である国際交流会館に入居申請することができます。申請時期は例年2月中旬頃ですので、国際交流会館への入居を希望する場合は、合格発表後、すみやかに人文学部チーム学務担当まで問い合わせてください。

なお、空室状況によっては、必ずしも寮に入居できるわけではございませんので、あらかじめご了承ください。

※申請できるのは、「留学」の在留資格を有する者、あるいは有する予定の者に限ります。

※国際交流会館とは、外国人留学生会館、外国人留学生寄宿舎、国際女子学生寄宿舎の総称です。

問い合わせ先

三重大学人文学部学務担当 電話: (059)231-9197

国際交流会館の詳細な情報は下記ウェブページをご確認ください。

<https://www.mie-u.ac.jp/international/internationalstudents/residence/>

IX. 健康診断書の判定方法について

本学保健管理センターにおいて健康診断書を確認し、結核感染等が確認された場合には、入学試験期日の2週間前までに新たに健康診断書を提出し、「感染のおそれがない」と認められない限り、入学試験を受験することはできません。

上記の事由により、受験できなかった者については、入学検定料を返還いたします。

X. 障害のある入学志願者との事前相談について

障害のある者に対しては、受験及び修学上の配慮が必要となる場合がありますので、出願に先立ち、必ず次により相談してください。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

また、相談の時期後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学に関してより良い方法やあり方を模索するためのもので、障害のある方の受験や修学を制限するものではありません。

事前相談の対象となる者【参考】

区 分	対象となる者
① 視覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 視力以外の視機能障害が高度な者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
② 聴覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③ 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障害が著しい者 上記以外で肢体不自由者に関する配慮を必要とする者
④ 病弱	<ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者、又はこれに準ずる者
⑤ 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> 学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

「注」 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

1. 受験上の配慮の例

<ul style="list-style-type: none"> ● 試験場への乗用車の入構 ● 車椅子の使用 ● 補聴器の使用 ● 連絡事項の文書による伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験室を別室に設定 ● 座席を最前列/最後列/出入口近く等に設定 ● 試験室を障害者用トイレ近くに設定 ● 試験時間の延長
---	--

2. 相談の方法

電話又は FAX などによりあらかじめ人文学部チーム学務担当に連絡した上で、次の内容を記載した相談書を人文学部チーム学務担当に郵送などの方法で提出してください。

なお、相談の内容によっては入学志願者又は出身高等学校関係者等との面談を行うことがあります。

- ① 入学志願者の氏名, 性別, 生年月日, 住所, 連絡先の電話番号
- ② 出身高等学校等名・卒業(見込み)年月日
- ③ 志望学部・学科・課程等名(第2志望, 第3志望がある場合, その旨明記してください。)
- ④ 障害の種類・程度(医師の診断書又は身体障害者手帳等の写しを提出してください。)
- ⑤ 受験及び修学上希望する具体的配慮
- ⑥ 高等学校等における生活状況等(主として授業関係)
- ⑦ その他参考となる事項

3. 相談の時期

出願開始2週間前まで(土曜日・日曜日・祝日を除く)

4. 連絡先

三重大学人文学部チーム 学務担当 電話(059)231-9197 FAX(059)231-9197

XI. 入学手続き等について

合格者(入学確約書提出者)には, 入学手続きに必要な書類等を2023年3月上旬頃送付します。

XII. 受験時の宿泊について

本学の受験に際し宿泊を必要とされる方は, 各自で旅館等を予約してください。

なお, 下記の機関を利用して予約することもできます。

【参考】

○津市ホテル旅館料理組合

〒514-0035 津市西丸ノ内1-1

ウェブサイト <https://www.e-tsu.net>

TEL 059-228-9029

FAX 059-228-9029

XIII. 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

「人文学部」

—このような人を求めます—

- 人間の文化、または、社会の動きやしぐみに強い関心・好奇心をもっている人。
- 積極的・人間的に生きるために、人間の文化や社会について深く理解することを望む人。
- 現代社会における諸問題を理解し、解決策を探求しようとする意欲がある人。
- そのために必要な基礎学力、論理的思考力、読解力、表現力を持つ人。
- これらの力をさらに高めようとする意欲にあふれる人。

—入学者選抜方針—

3年次編入学

●一般推薦入試

法律経済学科では、通常の学力試験を課さない推薦入試を実施します。学業成績が上位に属し、出身学校長等が責任を持って推薦し、合格した場合に入学を確約できる者に限ります。面接によって勉学への意欲やコミュニケーション能力を審査するとともに、出願書類の審査を加えて総合的な選抜をします。

●一般学力入試

文化学科では、文化や社会を広く深く理解し考えるために必要な基礎学力の一部を外国語で審査するとともに、小論文で文化や社会への関心と論理的思考力・表現力を審査します。法律経済学科では、論述試験によって論理的思考力・読解力・表現力を審査します。また、両学科とも、面接によって勉学への意欲やコミュニケーション能力を審査するとともに、出願書類の審査を加えて総合的な選抜をします。

●社会人特別入試

文化学科では、文化や社会を広く深く理解し考えるために必要な基礎学力の一部を外国語で審査するとともに、小論文で文化や社会への関心と論理的思考力・表現力を審査します。法律経済学科では、論述試験によって論理的思考力・表現力を審査します。また、両学科とも、面接によって勉学への意欲やコミュニケーション能力を審査するとともに、出願書類の審査を加えて総合的な選抜をします。

●私費外国人留学生特別入試

小論文で文化や社会への関心と論理的思考力・表現力を、また、面接によって日本で学ぼうとする勉学意欲やコミュニケーション能力を見ます。これらに出願書類(日本留学試験の成績を含む)の審査を加えて総合的な選抜をします。なお、3年次編入学後の学部専門教育課程において相当な成果をあげられるような日本語能力を有しているかどうかを見るために、小論文及び面接は、いずれも日本語により行います。

XIV. 学部・学科の内容

1. 本学的环境

三重県は、気候温暖で、四季の変化に富んでいます。本学は、県庁の所在地である津市北東部に位置し、伊勢湾を望む閑静で自然環境に恵まれた勉学には好適のキャンパスに5つの学部が統合されています。

2. 人文学部の概要

(1) 設置の目的

人文学部は、人文、社会科学全般にわたって幅広い教養と専門知識を養い、現代社会生活の諸分野に対応する総合的能力と積極的行動力をもった人材養成を目標として、昭和58年度に開設された学部です。

(2) 学科構成

人文学部は、文化学科と法律経済学科の2つの学科によって構成されています。

文化学科は、日本、アジア・オセアニア、ヨーロッパ・地中海、アメリカという4つの地域の文化のいずれかに関して、まず、言語、文学、歴史、思想、社会、民族、地誌、環境といった観点から多面的・総合的に学び、さらに、文化の特定の領域を選んで、深く専門的に研究を行います。これによって、世界各地の文化について多面的・総合的に理解し、文化の特定の領域については専門的・学問的な深い分析ができる力を身につけることができます。

法律経済学科は、法学・政治学・経済学・経営学といった社会科学の学問分野を軸に学び、変化の激しい現代社会において、自分なりの社会を見る眼をもって問題を発見し、意欲的にその解決に取り組むことができる能力を身につけます。そのために、本学科では、法政コースと現代経済コースという2つのコースを設けるとともに、学生ひとりひとりの適性と関心を確認しながら学習できる教育カリキュラムを用意しています。

3. 授業科目

【文化学科】

必修科目(様々な専修や地域毎の必修科目を列举したものです。)

地域から考える文化と社会	文化学研究総論	専門PBLセミナーB(文化学セミナー)	言語科学概論
文学概論	哲学概論	倫理学概論	歴史学概論
考古学・文化財学概論	社会学概論	文化人類学概論	地理学概論
環境学概論	言語科学論	英米文学論	ドイツ文学論
生命倫理論	美術史	美術理論	学術情報論
地域環境論	文化環境論	自然環境論	比較思想
比較社会論	比較文化論	専門PBLセミナーA(日本地域学セミナー)	日本の思想
日本の歴史	日本の言語	日本の文学	日本の社会
日本の風土と地誌	日本考古学特講	専門PBLセミナーA(アジア・オセアニア地域学セミナー)	アジア・オセアニアの思想
アジア・オセアニアの歴史	アジア・オセアニアの言語	中国の言語	アジア・オセアニアの文学
中国の文学	アジア・オセアニアの社会	アジア・オセアニアの風土と地誌	アジア・オセアニアの民族と文化
中国語会話	中国語作文	専門PBLセミナーA(ヨーロッパ・地中海地域学セミナー)	ヨーロッパ・地中海の思想
ヨーロッパ・地中海の倫理思想	ヨーロッパ・地中海の歴史	英米の言語	イギリスの文学
ドイツの言語	ドイツの文学	フランスの言語	フランスの文学
ヨーロッパ・地中海の社会	ヨーロッパ・地中海の風土と地誌	ヨーロッパ・地中海の民族と文化	英語会話中級
英語会話上級	英作文中級	英作文上級	ドイツ語会話
ドイツ語作文	フランス語会話	専門PBLセミナーA(アメリカ地域学セミナー)	アメリカの思想
アメリカの歴史	英米の言語	アメリカの文学	アメリカの社会
アメリカの風土と地誌	アメリカの民族と文化	卒業研究	

自由選択

言語科学講義	科学史・科学論	現代社会論	生涯学習概論
図書館・情報学概論	情報サービス論	日本語と日本社会	日本語コミュニケーション
特殊講義			

【法律経済学科】

必修科目

地域から考える文化と社会 経営学総論	専門PBLセミナー 近代経済学	憲 政治学原論	法 民法総則 経済原論
-----------------------	--------------------	------------	-------------------

コース必修および自由選択

【法政コース】

憲法制度論 政策過程論 行政法各論 環境法 物権法 刑法各論 商取引法 民事訴訟法 労働基準法	国際法 政治思想史 行政救済法 国際関係論 債権各論 刑事訴訟法 法哲学 民事執行法 労働組合法	日本政治史 現代政治理論 地方自治論 西洋政治外交史 家族法 会社法 法哲学特論 倒産法 特殊講義	行政学 行政法総論 地方自治特論 債権総論 刑法総論 民法総則 法思想史 現代裁判論 卒業研究
---	--	---	---

【現代経済コース】

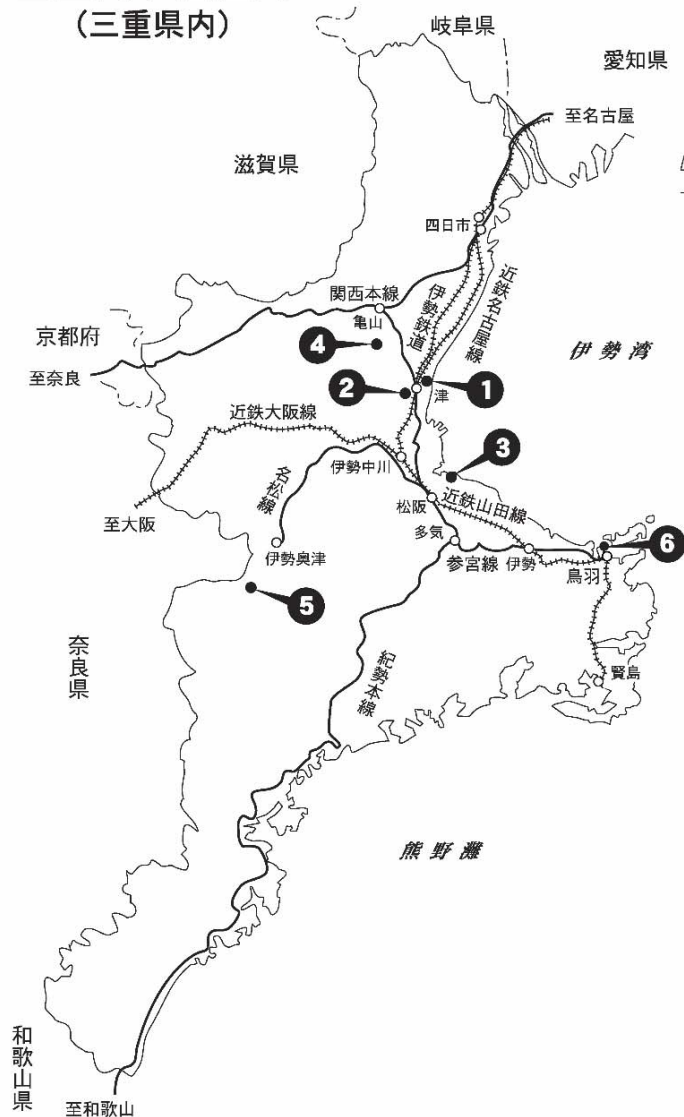
経営史 経済思想史 近現代アジア経済史 日本経済論特論 国際金融論 国際経済論 地域経済論 産業経済論各論 社会保障論 特殊講義	人的資源管理論 マーケティング論 金融論 会計学 福祉国家論 財政学 都市経済論 計量経済学 経済政策 卒業研究	経営管理論 中小企業論 証券経済論 簿記 マクロ経済学 経済数学 地域経済分析 経済統計 地域経済政策	経営戦略論 日本経済史 日本経済論 コーポレートファイナンス ミクロ経済学 地方財政論 産業経済論総論 福祉経済論 統計学
---	---	---	---

【両コース共通】

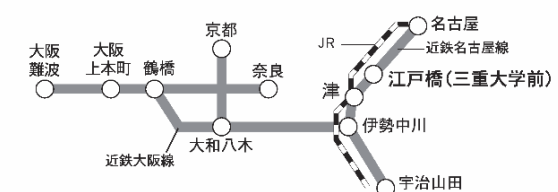
外書講読	日本語と日本社会	日本語コミュニケーション
------	----------	--------------

○ 両学科とも、上記の授業科目以外に演習科目があります。

XV. 三重大学位置図

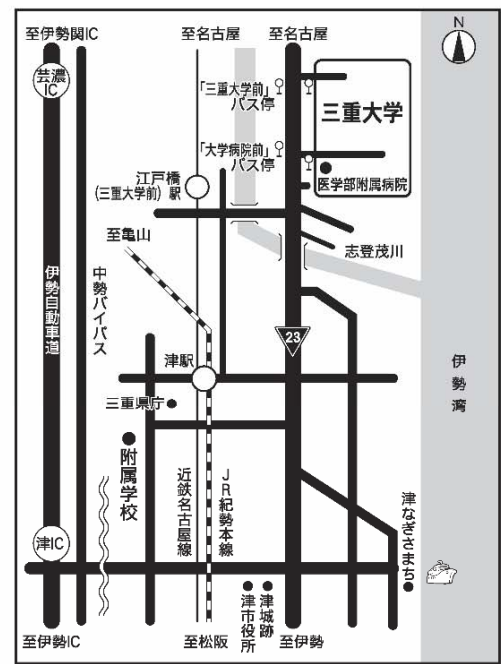


- ① 三重大学
- ② 附属学校
- ③ 練習船基地
附属紀伊・黒潮生命地域
フィールドサイエンスセンター
- ④ 附帯施設農場
- ⑤ 附帯施設演習林
- ⑥ 附帯施設水産実験所



●近鉄電車「急行」で	名古屋より 近鉄名古屋駅	約60分	江戸橋駅	徒歩	三重大学
	京都・大阪より 伊勢中川駅	約15分	津	約15分	
●近鉄電車「特急」で	名古屋より 近鉄名古屋駅	約50分	津	バス	三重大学
	大阪より 大阪難波駅	約90分	津	約10分	
	京都より 京都駅	約110分	津	タクシー	
●JR「快速みえ」で	名古屋より 名古屋駅	約50分	津	約10分	

◎大学周辺拡大図



◎本学への交通案内

- ① 近鉄江戸橋駅（急行停車駅）下車 徒歩 15分
- ② JR東海、近鉄、津駅（特急・急行停車駅）下車
津駅前バスのりば（津駅東口）「4番のりば」からバスで約10分
三重交通バス「白塚駅」、「椋本」、「豊が丘」、「サイエンスシティ」、
「三重病院」、「東豊野」、「高田高校前」行きに乗車
「大学病院前」又は「三重大学前」で下車
- ③ 津駅からタクシーで約10分
- ④ 津I.Cから車で約20分、芸濃I.Cから車で約25分

XVI. 個人情報の利用について

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(以下「個人情報保護法」という。)が平成17年4月1日に施行されました。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係る業務のほか、次のとおりです。

- (1) 合格者の住所・氏名等を入学手続に関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できない形で、統計処理等に付随する業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用します。

本学が取得した個人情報は、法で定められた場合を除き、出願者の同意を得ることなく、他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。